

平成13年度事業の概要

1 常 設 展 示

常設展示を構成する資料

区 分	実 物 資 料 及び標本類	ジオラマ機器 模 型 類	カ ラ ー 透 視 写真及び写真	図 板	計
地 学	457 点	20 点	34 点	51 点	562 点
生 物	961	86	67	68	1,182
歴 史 ・ 民 俗	1,262	68	55	58	1,443
美 術	326	—	3	5	334
合 計	3,006	174	159	182	3,521

(1) 地学・生物展示室 (515㎡)

<地 学>

- 本県の地形と地質の全貌と特徴を模型で展示。
- 郷土の生いたちについて岩石や化石などによって解説。
- 本県及びその周辺で産出した化石と各地質時代の化石（三葉虫、アンモナイト、タルボサウルスほか）の展示。ナウマンゾウとアジアゾウの全身骨格並びにゾウの進化に関する展示。
- 古生物を中心にした各地質時代の景観復元ジオラマ7景の展示。
- 本県で産出した有用鉱物を中心として、基本的な鉱物（水晶、方解石、ザクロ石、黄鉄鉱等）を展示。
- 砂丘風紋を中心とした微地形の展示。
- 紫外線の照射による蛍光を発する鉱物の展示。
- 砂丘と大山の地質的特徴とその形成過程解説展示。
- 人類の進化についてレーザーディスクによって解説。
- 館蔵資料紹介コーナーを設置。

<生 物>

- 大山と砂丘の生物の垂直分布や水平分布の状態とその特性を解説展示。
- 中国山地の代表的な植生景観と動物の生態展示（ジオラマ）。
- 日本海に生息する大型動物（ダイオウイカ、オウギハクジラ、ネズミザメ、マンボウ等）の解説展示。
- 頭足類、甲殻類、魚類の分類と生態を解説展示。
- ハチュウ類の分類展示。
- 両生類の分類展示。オオサンショウウオの発育過程と飼育の展示。
- 水生小動物の飼育展示。
- 鳥類の生息環境による分類と生態を解説展示。
- 哺乳類の分類展示。
- 山陰沿岸の貝類の分類と生態を解説展示。

- 昆虫の生活様式による分類と生態を解説展示。
- 郷土の植物の分類展示。
- 樹幹とキノコの生態展示。
- 動物の行動や植物の生育環境をレーザーディスクによって解説。

<自然資料紹介コーナー>

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| ●蛇じゃ！ | 平成13年3月27日(火)～4月22日(日) |
| ●人類の進化 | 平成13年4月24日(火)～6月24日(日) |
| ●鳥取県西部地震と兵庫県北部地震パネル展 | 平成13年5月22日(火)～5月27日(日) |
| ●世界のカブトムシ・クワガタムシ大集合 | 平成13年6月26日(火)～9月2日(日) |
| ●鉱物の世界 | 平成13年9月4日(火)～10月28日(日) |
| ●「ひつつき虫」と呼ばれる植物 | 平成13年10月30日(火)～12月16日(日) |
| ●海を渡ってきた動物たちーアライグマはどこから来たの？ー | 平成13年12月18日(火)～平成14年2月17日(日) |
| ●日本の桜 | 平成14年2月19日(火)～4月21日(日) |

(2) 歴史・民俗展示室 (515㎡)

<狩猟から農耕へ>

- 縄文時代の遺物（土器・石器・骨角器）と生活の解説展示。
- 弥生時代の遺物（青銅器・土器・石器）及び文化交流などの解説展示。

<古墳とその時代>

- 古郡家1号墳をはじめとする古墳の一括資料の解説展示。
- 本県で出土した須恵器の分類展示。
- 重要文化財伯耆長瀬高浜遺跡出土はにわなど、本県で出土した代表的なはにわの展示。
- 銅鏡・各種玉類・武具・馬具などの展示。
- 梶山古墳彩色壁画のカラー写真パネルと出土遺物の展示。

<奈良・平安の因伯>

- 古廃寺出土の軒丸瓦・仏足・瓦経などの展示。
- 上淀廃寺出土壁画の彩色復元（レプリカ）の展示。
- 伯耆国分寺跡出土の風鐸の展示。
- 経筒等経塚出土品の展示。
- 国宝三徳山三仏寺投入堂模型（10分の1）。
- 因幡国庁出土の墨書土器・緑釉陶器等の展示。
- 平城宮出土の木簡（レプリカ）の展示。
- 伊福吉部徳足比売骨蔵器（レプリカ）の展示。
- 時範記（複製）などの展示。
- 国宝・伯耆一宮経塚出土の経筒（レプリカ）の展示。

<戦乱の時代>

- 因伯の荘園と武士団の分布図及び伯耆国河村郡東郷庄下地中分図（模写）の展示。
- 中世遺跡出土の青磁香炉・青磁盤等の展示。
- 山名時氏安堵状（複製）・足利義政御教書（複製）・室町幕府引付頭人奉書（複製）等の展示。

- 梵鐘二口（廃阿代寺・国英神社）・印賀宝篋印塔（レプリカ）の展示。
- 楞嚴寺文書（写真パネル）を展示し、中世の「命令の伝達」について解説。

<士農工商の社会>

- 吉川元春寄進状・亀井茲矩書状などの展示解説。
- 鳥取城模型、鳥取城下図（模写）、鳥取城瓦など鳥取城関係の展示。
- 池田光仲肖像（写真パネル）・書画をはじめ鳥取池田家の解説展示。
- 在方諸事控・万控帳など鳥取藩政資料の展示。
- 家老所用籠など籠の展示。
- 参勤交代図屏風などによる参勤交代に関する展示。
- 鳥取藩の藩札と近世の貨幣などの展示。

<因州藩から鳥取県へ>

- 最後の藩主池田慶徳の肖像写真パネルの展示と解説。
- 池田慶徳・徳川慶喜宛徳川斉昭書状で、鳥取藩と幕府との関係を展示解説。

<生活の中の道具>

- 江戸時代末期から明治時代にかけて分布した広間型農家の一部を復元し、生活用具を配して展示。

<伝え継ぐ心>

- 年中行事、県内の代表的な民俗行事を季節により写真と資料によって解説展示。
- きりん獅子・郷土玩具などの芸能娯楽用具を解説展示。
- サネモリさん・クチナワさん・サイノカミさんなどの民間信仰の展示。
- とんどう・双盤念仏・綱引き・亥の子などの民俗行事をVTRによって紹介。

<歴史の窓>

●書画に見る殿様の個性	平成13年3月6日(火)～4月22日(日)
●速報青谷上寺地遺跡	平成13年4月24日(火)～5月20日(日)
●新着資料－20世紀のカメラ－	平成13年5月22日(火)～7月15日(日)
●秋田政蔵文庫－江戸の日本図と名所図絵－	平成13年7月17日(火)～9月2日(日)
●これが人相書だ	平成13年9月4日(火)～10月7日(日)
●河北省の歴史と伝統工芸	平成13年10月9日(火)～11月18日(日)
●鳥取県のしめ飾り	平成13年11月20日(水)～12月28日(金)
●青谷上寺地遺跡	平成14年1月4日(火)～3月24日(日)
●護符－天井裏の神仏－	平成14年3月26日(火)～5月12日(日)

(3) 近世美術展示（美術展示室 260㎡）

- 平安時代から江戸時代の県指定保護文化財の仏像等を展示。
- 江戸時代の鳥取藩絵師等の掛軸・屏風等を展示。
- 本県出身の彫刻家の作品をロビーに展示。

主な展示資料（○印は県指定保護文化財）

<近世絵画>

芳埜山春景図	沖 探容	個人蔵	春草花之図	根本 幽峨	個人蔵
四季草花之図	沖 一峨	〃	春野草花に慶治公の賛	沖 九皐	〃
花鳥図	島田 元旦	〃	春園曉露図	三枝 真洞	館蔵
花鳥図	土方 稲嶺	館蔵	桜花図（国本道男賛）	島田 元旦	〃

梅花百鳥双鯉図	小畑 稲升	館 蔵	八幡公勿来関図	沖 探容	個 人 蔵
小鳥の図	黒田 稲阜	個 人 蔵	楠公父子決別之図	根本 幽峨	館 蔵
耕作図屏風	根本 幽峨	〃	合戦図	沖 一峨	〃
芭蕉と蝸牛の図	土方 稲嶺	〃	稚童遊戯図	黒田 稲阜	〃
浪兔図	沖 探容	〃	西王母図	片山 楊谷	〃
牡丹猫図	黒田 稲阜	館 蔵	○東方朔図	土方 稲嶺	〃
麝香花下悠々之図	土方 稲嶺	〃	東方朔八千歳福寿之図	島田 元旦	〃
○猛虎図	片山 楊谷	個 人 蔵	孔明図	根本 幽峨	〃
○雲龍図	土方 稲嶺	館 蔵	月夜訪孔明図	島田 元旦	〃
龍虎図	沖 一峨	〃	林和靖愛鶴図	土方 稲嶺	〃
○群鯉図	黒田 稲阜	〃	馬図屏風	〃	〃
遊鯉図	小畑 稲升	〃	梅に錦鶏鳥	片山 楊谷	個 人 蔵
猿の図	土方 稲嶺	個 人 蔵	日に松鶴図	根本 幽峨	〃
花鳥（紫陽花と小禽）	沖 一峨	〃	松鶴図	沖 一峨	館 蔵
牡丹小禽図	黒田 稲阜	〃	日ノ出鶴亀	〃	個 人 蔵
牡丹に鳥	沖 探容	〃	老松双鶴図	片山 楊谷	〃
花鳥図	〃	館 蔵	巖上双亀之図	土方 稲嶺	館 蔵
芙蓉に群鴨図	沖 一峨	〃	松の図	沖 一峨	個 人 蔵
花鳥図	〃	個 人 蔵	竹に日図	島田 元旦	〃
牡丹小禽雙鳩図	土方 稲嶺	〃	雪中梅華図	土方 稲嶺	館 蔵
花鳥之図	島田 元旦	〃	山水図	〃	〃
花鳥図	〃	〃	雪中山水図	島田 元旦	個 人 蔵
花鳥図	〃	〃	青緑山水図	建部 模斎	館 蔵
月に秋草図	沖 探容	〃	肥後谷山水図	沖 九皐	〃
観月図	小畑 稲升	館 蔵	山水図	正牆 適処	個 人 蔵
○群鯉游泳図	黒田 稲阜	〃	米法山水図	牧野 芝石	館 蔵
秋景山水図	島田 元旦	〃	山水図	正牆 適処	〃
秋景山水画賛	正牆 適処	個 人 蔵	四季山水図屏風	沖 探容	〃
小松紅葉小禽図	沖 探容	〃	淡青緑山水図	根本 幽峨	〃
楼閣山水図	根本 幽峨	〃	春秋山水図	沖 一峨	〃
紫式部・清少納言図	島田 元旦	〃			

<書 蹟>

桜をよめる歌	橘 千蔭	館 蔵	和歌・元旦	加茂 季鷹	館 蔵
--------	------	-----	-------	-------	-----

<宗教美術>

○大日如来坐像	不 詳	長砂地区蔵	毘沙門天立像	不 詳	個 人 蔵
○擬宝珠	〃	地藏院蔵	蔵王権現立像	〃	観照院蔵
○狛犬	〃	姫宮神社蔵	○稻荷像	木喰 明満	津庭神社蔵

<工 芸>

白磁四耳壺	不 詳	個 人 蔵	楼閣山水人物螺鈿四方盆	不 詳	館 蔵
備前焼壺	〃	〃	楼閣人物螺鈿卓	〃	〃
備前焼壺	〃	地藏院蔵	舟遊螺鈿机	〃	〃
耳付片口壺	〃	館 蔵	竹林鶏螺鈿卓	〃	〃
六角筒形水差	〃	〃	染付花籠文皿	〃	〃
種壺水指	〃	〃	染付花鳥文皿	〃	〃
瓢形徳利	〃	〃	染付草花文四隅切皿	〃	〃
丸形徳利	〃	〃	染付花雲篋文皿	〃	〃
菊水菱蒔絵花見弁当	〃	〃	染付楼閣山水文皿	〃	〃
蓮鷺堆黄輪花盆	〃	〃	染付鷹文皿	〃	〃
梅詩文堆黒輪花盆	〃	〃	色絵樹下唐子文皿	〃	〃
松下人物堆朱輪花盆	〃	〃	色絵松竹梅文皿	〃	〃
人物色絵漆盆	〃	〃	色絵牡丹蝶文皿	〃	〃
楼閣人物密陀絵箔絵棧花盆	〃	〃	色絵花鳥文皿	〃	〃

住吉蒔絵平棗	不	詳	館	蔵	山水楼閣蒔絵印篋	不	詳	館	蔵
銀地秋草蒔絵棗	勦	到	〃		古今集蒔絵冊子箱	〃		〃	
忍冬蒔絵棗	不	詳	〃		流水桜蒔絵硯箱	〃		〃	
鯉蒔絵棗	歟	到	〃		虎溪三笑絵棚	〃		〃	
堆朱棗	不	詳	〃		四季草花蒔絵料紙箱	〃		〃	
虫尽棗	宗	秀	〃		四季草花蒔絵硯箱	〃		〃	
黒漆竹編筆筥	不	詳	〃		粟鷄蒔絵硯箱	〃		〃	
花鳥獸螺鈿筆筥	〃		〃		松竹梅橋紋蒔絵カルタ箱	〃		〃	
梅蒔絵提筆筥	〃		〃		色絵松竹梅文皿	〃		〃	
秋草桐紋蒔絵手燭	〃		〃		色絵松文皿	〃		〃	
山水人物漆絵箔絵筆	〃		〃		染付松鶴文台付皿	〃		〃	
龍仙人鬼箔絵筆	〃		〃		色絵松竹梅文皿	〃		〃	
牡丹鎌倉彫筆	〃		〃		染付竹雪輪文皿	〃		〃	
松鎌倉彫筆	〃		〃		人物蒔絵太鼓樽	〃		〃	
堆朱筆	〃		〃		楼閣山水人物螺鈿四方盆	〃		〃	
蓬萊蒔絵印篋	〃		〃		騎馬人物箔絵螺鈿四方盆	〃		〃	
柘榴蝶蒔絵印篋	〃		〃		染付楼閣山水文四隅切皿	〃		〃	
瓢箪雀蒔絵印篋	〃		〃		染付楼閣山水文皿	〃		〃	

小企画展示「郷土の仏画」

会 期 平成13年 8 月10日(金)～10月14日(日) (途中展示替)

〔出 品 目 録〕

普賢菩薩像(写真)	不	詳	豊乗寺蔵	釈迦如来画像	不	詳	大安興寺蔵
楊柳観音像(写真)	〃		〃	釈迦三尊図	〃		個 人 蔵
普賢菩薩十羅刹女像(写真)	〃		常忍寺蔵	○般若十六善神図(釈迦十羅刹女図)	〃		豊乗寺蔵
真言八祖図	〃		豊乗寺蔵	釈迦十六善神画像	〃		大安興寺蔵
真言八祖図	〃		館 蔵	涅槃図	〃		興禅寺蔵
千手曼荼羅	〃		大安興寺蔵	涅槃図	〃		宝禅寺蔵
○両界曼荼羅図	〃		豊乗寺蔵	涅槃図	〃		個 人 蔵
胎蔵界曼陀羅	〃		館 蔵	涅槃図	〃		豊乗寺蔵
不動明王像	〃		〃	涅槃図	〃		本清富観音堂蔵
五大明王画像	〃		大安興寺蔵	阿弥陀来迎図	〃		個 人 蔵
○不動明王画像	〃		豊乗寺蔵	阿弥陀来迎図	〃		館 蔵
愛染明王画像	〃		〃	阿弥陀二十五菩薩来迎図	〃		〃
弘法大師行状曼荼羅図	〃		〃	阿弥陀来迎図	〃		〃
十二天画像	〃		〃	十三仏画像	〃		大安興寺蔵
釈迦三尊図	〃		館 蔵				

(4) 近代美術展示室 (374㎡)

「鳥取の近代美術」(Ⅰ)

会 期 平成13年 4 月27日(金)～ 8 月19日(日)

〔出 品 目 録〕

風景	久米 福衛	館 蔵	棟梁の家族	前田 寛治	館 蔵
木のある風景	木山 義喬	〃	青年像	浜田 宜伴	〃
林	森岡 柳蔵	〃	T子像	川上 貞夫	〃
万年山早春	伊谷 賢蔵	〃	M氏の像	山桥 行雄	〃
東浜風景	松田 晃八	〃	モン・プチ	米本 一郎	〃
燈台遠望	笹鹿 彪	〃	石仏たち	尾崎梯之助	〃
清水彦五郎の像	遠藤 董	〃	いきもの	國頭繁次郎	〃
洗濯する女	安岡 信義	〃	アントロポス 4	福留 章太	〃
浴衣の女	中井 金三	〃	朱い祝祭日	山本 朔士	〃
花模様のドレス	香田 勝太	〃	輪廻ー7 4 4	ニシオトミジ	〃
少女と子供	前田 寛治	〃	DAY-DREAM (z)	藤原 晴彦	〃

小企画コーナー「菅 楯彦と小早川秋聲」

会 期 平成13年 4 月27日(金)～ 6 月17日(日) (途中展示替)

〔出 品 目 録〕

仁徳天皇図	菅 楯彦	館 蔵	秋雨客舎	菅 楯彦	館 蔵
渡舟図	"	"	金比羅船	"	"
春宵直行	"	"	氷雨降る宵	小早川秋聲	"
伊勢物語	"	"	薫風屏風	"	"
観音	小早川秋聲	"	六歌仙	菅 楯彦	"
絲綢之路屏風	"	"	龍宮図	"	"
山部赤人	菅 楯彦	"			

小企画コーナー「前田寛治素描」

会 期 平成13年 7 月10日(火)～ 8 月19日(日)

〔出 品 目 録〕

男の像	前田 寛治	館 蔵	立っている労働者	前田 寛治	個 人 蔵
男の像	"	"	ものを喰う男	"	館 蔵
握り飯を喰う男	"	"	ものを喰う男	"	"
子供、男	"	"	椅子に座る裸婦	"	"
子供	"	"	1930年協会入場券下図	"	"
横向きの女の子	"	"	裸婦	"	"
アインシュタイン像(1)	"	"	裸婦	"	"
アインシュタイン像(2)	"	"	裸婦	"	"
風景	"	"	裸婦	"	"
裸人二人	"	"	仰臥裸婦	"	"
福本像	"	"	林道	"	"
少女	"	"	風景	"	"
編物をする婦人	"	"	『走馬燈』挿絵下図	"	"
裸婦研究	"	"	『走馬燈』挿絵下図	"	"
発電器	"	"	波	"	"
発電所の内部	"	"	波	"	"
工場内部	"	個 人 蔵	波	"	"
立っている労働者	"	館 蔵	海	"	"

「鳥取の近代美術」(Ⅱ)

会 期 平成14年 1 月 4 日(金)～ 3 月10日(日)

〔出 品 目 録〕

静物	松田 晃八	館 蔵	少年	久米 福衛	館 蔵
果物などの静物	浜田 宜伴	"	ブルターニュの女	前田 寛治	個 人 蔵
籠の静物	前田 寛治	"	西洋婦人像	"	館 蔵
卓上秋果	伊谷 賢蔵	"	クスコの朝市	伊谷 賢蔵	"
立葵	中井 金三	"	十字架より降ろすキリスト	国頭繁次郎	"
清水彦五郎の像	遠藤 董	"	初雪	香田 勝太	"
俳	藤井禎三郎	"	赤煉瓦と車輪	尾崎悌之助	"
衣ぬう女	森岡 柳蔵	"	街の風景	前田 寛治	"
休息	中井 金三	"	波	伊谷 賢蔵	"
読書(緑陰)	安岡 信義	"	帆を干す	笹鹿 彪	"

小企画コーナー「岡村吉右衛門コレクション・アジアの染織」

会 期 平成14年 1 月 4 日(金)～ 2 月11日(月・祝)

〔出 品 目 録〕

儀礼用装飾布	不 詳	館 蔵	胸布	不 詳	館 蔵
--------	-----	-----	----	-----	-----

肩掛	不	詳	館	蔵	腰巻／肩掛け	不	詳	館	蔵
腰巻		〃		〃	肩掛け		〃		〃
腰巻		〃		〃	腰衣		〃		〃
儀礼用布		〃		〃	儀礼用装飾布		〃		〃
儀礼用布（供物）		〃		〃	腰巻		〃		〃
儀礼用布（供物）		〃		〃					

小企画コーナー「野崎信次郎 抽象の世界」

会 期 平成14年 2月14日(木)～3月10日(日)

〔出品目録〕

はばたき	野崎信次郎	館	蔵	SPACE(75-3)	野崎信次郎	館	蔵
窓	〃		〃	SPACE(75-6)	〃		〃
人物 (W)	〃		〃	WHY(80-1)	〃		〃
白い対話 (M)	〃		〃	WHY(80-3)	〃		〃
暗い曲線	〃		〃	MANGEKYO(B)	〃		〃
GAME (E)	〃		〃	Memory(84-A)	〃		〃
GAME (Y)	〃		〃	Daily(85-5)	〃		〃
End of the game(I)	〃		〃	Today(86-E)	〃		〃
End of the game(III)	〃		〃	Today(86-D)	〃		〃
Image (W)	〃		〃	Today's Landscape山なみ(87-C)	〃		〃
Map (III)	〃		〃				
Map (VI)	〃		〃				

(5) 県立博物館 新収蔵美術品展

会 期 平成14年 2月23日(土)～3月24日(日)

〔出品目録〕

春浅し裏磐梯	笹鹿 彪	館	蔵	碧	國領 経郎	館	蔵
阿蘇外輪山	〃		〃	遙眺	〃		〃
桜島	〃		〃	悠々	〃		〃
室内裸婦	伊谷 賢蔵		〃	現々の景	〃		〃
大原女	〃		〃	薄ら陽の砂州	〃		〃
コンポジション	〃		〃	樹陰古寺感懐	林 益堂		〃
金蓮花と娘達	〃		〃	雨後稲葉山連峰	〃		〃
引網	〃		〃	三滝溪谷之図	〃		〃
絵のある坐像	國領 経郎		〃	故山秋色之図	〃		〃
少女	〃		〃	青緑山水図	〃		〃
東京の海	〃		〃	伯州烏ヶ山心象	〃		〃
終着駅	〃		〃	木馬	木原 義明		〃
船	〃		〃	早春	〃		〃
抱擁	〃		〃	裸婦	〃		〃
遠い海	〃		〃	南大山	〃		〃
杜を映す溜水	〃		〃	山陰海岸	〃		〃
踞	〃		〃				

2 特 別 展

(1) 「トリピー森の大冒険 ―さがそう小さな妖精たち―」

会 期 平成13年 7月25日(水)～8月22日(水) 休館日 8月6日(月)

入館者

会 場 鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室

主 催 鳥取県教育委員会・鳥取県立博物館

後 援 鳥取県各市町村教育委員会

入館料 小・中学生200円(100円) 高校生400円(200円) 一般600円(400円)

※()は団体20人以上

森は多様な生物の生活の場である。森の生きものがそれぞれに担っている生産、消費、分解の役割が物質循環をつくり「森」という生態系を成り立たせている。

この展覧会では、各種標本を用いて森の生きものと生態系における役割を紹介した。また、VTRやコンピュータを利用した映像、アリの視線で変形菌を観察する疑似体験的展示等により、小さな子どもたちにも親しみやすく探求心をそそる展示を構成した。

<関 連 行 事>

特別講演会「自然はふしぎ、おもしろい ―身近な自然を楽しむために―」

期 日 平成13年 8月19日(日) 午後2時～午後4時 当館講堂

講 師 高山短期大学飛騨自然博物館 学芸員 小野木 三郎 氏

参加人数 50人

親子散策会「親子で森の大冒険」

期 日 平成13年 8月18日(土) 午前9時30分～午後3時30分 鳥取市樗谿周辺

講 師 高山短期大学飛騨自然博物館 学芸員 小野木 三郎 氏

参加人数 16人

特別展行事「ネイチャーゲームで遊ぼう」

期 日 平成13年 7月28日(土) 午後2時～午後4時 当館会議室

講 師 当館学芸員

参加人数 40人

特別展行事「いろいろなスライムを作ろうⅠ・Ⅱ」

期 日 平成13年 8月4日(土)、11日(土) 午後2時～午後4時 当館会議室

講 師 当館学芸員

参加人数 各50人

ギャラリートーク

期 日 平成13年 8月5日(日)、12日(日) 午後2時～午後4時 当館展示室

講 師 当館学芸員

参加人数 35人

イブニング・ギャラリートーク「夜の森」

期 日 平成13年 8月10日(金) 午後5時30分～午後7時 当館展示室

講 師 当館学芸員

参加人数 22人

<展示テーマと内容>

第1室

(1) 太陽の恵み

樹齢2200年の巨木や1mmに満たない虫が一緒にくらす、森とはどんな場所なのか、緑色植物から始まる食物連鎖の視点から、森にすむ多様な生きものを紹介した。

(2) 落ち葉のゆくえ

土壌動物の働きを示し、土のプランクトンと呼ばれる土壌動物を100倍の拡大模型で紹介した。実物の顕微鏡観察に加えて、小・中学生向けの「土壌動物による環境診断法」を展示・紹介した。

(3) キノコのはたらき

分解者として扱われることの多いキノコだが、植物と共存したり、動物に取り付いたり生態は様々である。アクリル標本の採用により今までにない美しさでキノコを紹介した。

(4) 森の妖精「変形菌」

動物、植物双方の性質を併せ持つ不思議な生きもの「変形菌」を紹介した。手のひらの数倍もある巨大細胞の培養実験や小型カメラで変形菌を探す体験コーナーを設けた。また、変形菌に魅せられた研究者として南方熊楠と昭和天皇の業績も紹介した。

(5) 生きものが土を育てる

動植物の生活の場である土壌も、生物自身が作り出していることを土壌のはぎ取り標本などで紹介した。

第2室

(6) 森と人の関わり

日本人が木を植えた歴史と森を利用した鴨猟、魚漁を紹介した。

(7) 森の博物館

日本の森の垂直分布と水平分布を紹介した。

(8) 森とあそび（参加体験型展示コーナー）

- ・チップのプール ・植物立体パズル ・水鳥観察シミュレーション
- ・カブトムシと綱引き ・クワガタと力比べ

(9) 環境問題と森

今日的課題である酸性雨、オゾン層破壊、地球温暖化などの環境問題と森との関わりを紹介した。

(2) 「現代美術への招待 ～日本の前衛・60年代～」

会 期 平成13年10月2日(火)～11月2日(金)

会 場 鳥取県立博物館 第1・2・3特別展示室

主 催 鳥取県教育委員会、鳥取県立博物館

後 援 鳥取県各市町村教育委員会、新日本会新聞社、山陰中央新報社、NHK鳥取放送局
山陰中央テレビ放送、山陰放送、日本海テレビ

入館料 一般800円(400)円、高校生400円(200)円、小・中学生200円(100)円

()内は20人以上の団体料金

1960年代に入ると、日本美術界において芸術のとらえ方や在り方は大きく変化し、「美しさ」や

「上手さ」を規範とする、従来の美的価値観や芸術概念を問い直す作家たちが多く登場した。彼らは、権力や権威にしばられず、自らの自由な考えや個性を多種多様な 素材や技法を用いて表現し、時代の大きな新しい流れをつくった。

本展では、このような60年代の前衛的現代美術を「はじまり」「ほとぼしる情熱」「単純化と繰り返し」「破壊と創造」「形は語る」の5つのテーマで展示構成し紹介した。

<関連行事>

(1) 特別講演会「60年代・芸術の破壊と創造」

期 日 10月14日(日)

講 師 画家・作家 赤瀬川原平氏

(2) 特別講演会「60年代・日本の前衛」

期 日 10月21日(日)

講 師 京都国立近代美術館主任研究官 尾崎信一郎 氏

(3) 現代作家によるワークショップ「漂流物で私流オブジェをつくりたい」

期 日 10月6、7日(土・日)

講 師 美術家・大久保英治氏

(4) 音楽会「60年代のメロディー」

期 日 10月8日(月・祝)

演奏者 シンセサイザー・ユニットさとみ☆ひろみ

(5) ギャラリートーク 毎週土曜日午後2時から 展示会場

<出品目録>

若い太陽の塔	岡本 太郎	川崎市岡本太郎美術館	レインボーク・ロック	饗 嘏	京都国立近代美術館
リョウラン	"	"	ハンガー	齊藤 義重	"
赤のアイコン	"	"	作品'64-3	磯辺 行久	広島市現代美術館
マラソン	"	"	作品'64-4	"	"
現代(シメール)	今井 俊満	大阪市立近代美術館建設準備室	色盲検査表No.5	清水 晃	東京都現代美術館
二次元的なアンサンブル	堂本 尚郎	京都国立近代美術館	耳	三木 富雄	国立国際美術館
渦	難波田龍起	国立国際美術館	無題	荒川 修作	広島市現代美術館
機	津高 和一	"	愛	工藤 哲巳	倉敷市立美術館
交叉A	杉全 直	広島市現代美術館	花魁	篠原有司男	東京都現代美術館
はかなき草木	田淵 安一	京都国立近代美術館	奴隸系図	菊畑茂久馬	"
青の記号	福留 章太	サンカメラ有限公司	事実か方法か1	赤瀬川原平	名古屋市美術館
作品60-1	前川 強	芦屋市立美術館	復讐の形態学	"	"
白地に黒い	吉原 治良	"	事実か方法か2	"	"
天幕星両頭蛇	白髪 一雄	京都国立近代美術館	韻	中西 夏之	個人蔵
作品	嶋本 昭三	芦屋市立美術館	韻	"	"
作品	元永 定正	国立国際美術館	洗濯バサミは攪拌行動を主張する	"	"
作品	村上 三郎	芦屋市立美術館	ビンの紐	高松 次郎	"
作品	田中 敦子	"	点	"	広島市現代美術館
作品	向井 修二	"	Untitled	福嶋 敬恭	個人蔵
作品・62	松谷 武判	"	BLUE DOTS	"	"
曼荼羅之図	前田 常作	個人蔵	扉の影	高松 次郎	東京都現代美術館
Little Line	岡田 謙三	"	Work C-75	山田 正亮	芦屋市立美術館
日本の記憶	高橋 秀	京都国立近代美術館	無題	桑山 忠明	名古屋市美術館
景	山口 長男	国立国際美術館	Untitled "39km"	福嶋 敬恭	個人蔵
作品	宮脇 愛子	"	顔 メンタルテスト	"	"
長い歩み	宇佐美圭司	愛知県美術館	トラヴェリング・ライフ	草間 彌生	京都国立近代美術館
波紋の緑	オノサト・トシノブ	群馬県立近代美術館	底なし2	荒川 修作	個人蔵
太陽の森のバーキング	菅井 汲	個人蔵	パシフィック・オーシャン	草間 彌生	東京都現代美術館

3 催 物 展

(1) 「絵はがきで綴る鳥取」

会 期 平成13年 4 月27日(金)～ 5 月27日(日)

会 場 第2 特別展示室

内 容 絵はがきは、明治・大正・昭和時代を通じて、観光地の土産として、あるいはイベントや事件を記念して、さかんに発行された。絵はがきは、当時の世相や風俗を読み取ることができる貴重な資料である。

この展覧会では、鳥取県に関わる絵はがきによって、鳥取県の景観や世相の変化を振り返り、郷土鳥取について理解を深めていただこうとした。

展示内容 当館が所蔵する1,124点の絵はがきを下記のテーマごとに展示した。

(1) 観光地の絵はがき (網代千貫松・摩尼寺・三徳山・境港風景など)

(2) 記念の絵はがき

(米子博覧会・山陰鉄道開通記念・皇太子殿下山陰道行啓記念など)

(3) 事件の絵はがき (歩兵第四十連隊軍隊生活・鳥取市未曾有の大洪水惨状など)

(4) 学校の絵はがき

(明倫尋常小学校臨海学校生活・鳥取県師範学校秋期大運動会など)

< 関 連 行 事 >

(1) ギャラリートーク (学芸員による展示解説)

日 時 4 月28日(土) 午後 2 時から 会場 展示会場

(2) 人文講座「絵はがきで綴る鳥取」

日 時 5 月26日(日) 午後 2 時から 会場 当館講堂

講 師 当館学芸員 福代 宏

参加人員 31人

(2) 「北九州市立美術館所蔵 ピカソ銅版画展 ～ボラールのための連作集から～」

会 期 平成13年11月16日(金)～12月 9 日(日)

会 場 鳥取県立博物館 第2 特別展示室

主 催 鳥取県教育委員会、鳥取県立博物館

協 力 北九州市立美術館

パブロ・ピカソ(1881年～1973年)は、スペインのマラガに生まれた、20世紀の偉大な芸術家である。幼い頃からその才能をあらわし、20世紀の芸術運動の原点というべきキュビズムの誕生においても大きく関わるが、一定の形式に留まることなく、自己の感情を表現できる手法を追求し続けた画家である。

北九州市立美術館の開館を記念として新日本製鉄株式会社から寄贈された、この『ボラールのための連作集』は、ピカソの最も円熟した1930年代に制作された銅版画集の傑作である。彫刻家とモデルをモチーフとした男と女の性愛をテーマに、銅版画の技法を駆使しピカソの能力が遺憾なく発揮された、20世紀の美術史を飾る作品といえる。

ピカソの銅版画をまとまった形で展示紹介するのは県内でも初めてのことであり、広く県民に20世紀の巨匠・ピカソの芸術の一端を紹介した。

< 関 連 行 事 >

ギャラリートーク (担当学芸員による展示解説)

会期中毎週土曜日(11/17、24、12/1)、午後2時から

< 出 品 目 録 >

花の冠をつけた裸婦	パブロ・ピカソ	北九州市立美術館蔵	布を持つ裸婦の前の彫刻家の休息	パブロ・ピカソ	北九州市立美術館蔵
花の冠をつけた裸婦	"	"	二人の男性像	"	"
湯浴み	"	"	小さなトルソの前の彫刻家の休息	"	"
カーテンの前に座る裸婦	"	"	サルタンバンクの家族	"	"
女のベールを取る男	"	"	若い騎手の前の彫刻家の休息	"	"
彫刻の前の裸婦	"	"	「牡牛のいるパッカス祭」の前の彫刻家の休息	"	"
彫刻の前の二人の彫刻家	"	"	「馬と牛」の前の彫刻家の休息	"	"
脚を曲げた裸婦	"	"	「ケンタウロスと女」の前の彫刻家の休息	"	"
暴行	"	"	彫刻家と窓の前のモデル	"	"
休息する裸婦たち	"	"	超現実主義の彫刻と彫刻家の休息	"	"
フルート吹きと三人の裸婦	"	"	モデルと大首像	"	"
酒を飲む二人のカトロニア人	"	"	彫刻家の休息 I	"	"
四人の子供に見られる羽のはえた牛	"	"	彫刻家の休息 II	"	"
水浴する女達	"	"	彫刻家の休息 III	"	"
闘牛場の牛と馬	"	"	彫刻家の休息 IV	"	"
白日の死 IV	"	"	「群像」をながめるモデル	"	"
サーカス	"	"	窓辺の三人の裸婦	"	"
顔と体の交叉	"	"	彫刻家と立つモデル	"	"
しゃがむ若い二人、タンバリンをもつ男	"	"	彫刻家とひざまづくモデル	"	"
フルート吹きとタンバリンを持つ娘	"	"	盃を持つ青年像	"	"
座る裸婦、手の上に押しつけられた頭	"	"	肘をつく女と彫刻の背とヒゲ顔	"	"
女闘牛士 II	"	"	裸のモデルと彫刻	"	"
女闘牛士 III	"	"	モデルと背をむけた大彫刻	"	"
仮面を付けた人物と女の顔の鳥	"	"	モデルと超現実主義の彫刻	"	"
座る裸婦と三人のヒゲ男	"	"	しゃがむモデルと彫刻の背とヒゲ顔	"	"
ローソクの下の少年と眠る女	"	"	彫刻と花瓶	"	"
女のベールを取る牧神	"	"	三人の役者	"	"
窓下の暴行	"	"	座る女と背を向ける女	"	"
暴行 IV	"	"	帽子をかぶって腰かける女と布にくるまって立つ女	"	"
暴行 II	"	"	見つめあう二人のモデル	"	"
暴行 V	"	"	彫刻家と三人の踊り子の彫刻	"	"
暴行 VII	"	"	四人の裸婦と首像	"	"
レンブラントと女の顔	"	"	手に盃を持つミノタウロスと若い女	"	"
バレットを持つレンブラント	"	"	女を愛撫するミノタウロス	"	"
レンブラントと二人の女	"	"	ミノタウロスのいる酒宴の光景	"	"
レンブラントとベールをつけた女	"	"	女に見守られて寝るミノタウロス	"	"
彫刻家と横たわるモデルと彫刻	"	"	アマゾンを攻撃するミノタウロス	"	"
彫刻家とモデルと胸像	"	"	傷ついたミノタウロス IV	"	"
彫刻家としゃがむモデルと首像	"	"	剣でさされたミノタウロス	"	"
彫刻家とモデルと座像	"	"	瀕死のミノタウロス	"	"
彫刻家とモデルと彫刻	"	"	カーテンの後のミノタウロスと女	"	"
蒼衣の二人のモデル	"	"	ミノタウロスと酒を飲む男と女	"	"
絵の上に肘をつくモデル	"	"	眠る女を愛撫するミノタウロス	"	"
盃を持つ彫刻家としゃがむモデル	"	"	少女に導かれる盲目のミノタウロス I	"	"
彫刻家と首像を称讃するモデル	"	"	少女に導かれる盲目のミノタウロス III	"	"
制作中の若い彫刻家	"	"	少女に導かれる盲目のミノタウロス II	"	"
制作中の老彫刻家	"	"	夜、少女に導かれる盲目のミノタウロス	"	"
彫刻家と二つの首像	"	"	ボラールの肖像 II	"	"
制作中の彫刻家の上半身	"	"	ボラールの肖像 I	"	"
彫刻家の休息と仮面をつけたモデル	"	"	ボラールの肖像 III	"	"

4 教育普及活動

(1) 巡回展

展 示 テ ー マ	会 期	会 場	入館者数
鳥 取 県 の 自 然	13. 10. 26 ～ 11. 4	まなびタウンとうはく	634 人
	13. 11. 7 ～ 11. 20	名 和 町 公 民 館	223
絵 は が き で 綴 る 鳥 取	13. 7. 14 ～ 7. 29	岸 本 町 中 央 公 民 館	905
	13. 9. 15 ～ 10. 5	岩 美 町 中 央 公 民 館	945
	13. 10. 7 ～ 10. 26	あ お や 郷 土 館	885
	13. 10. 28 ～ 11. 11	用 瀬 町 民 会 館	600
鳥取県立博物館所蔵美術品展 「鳥取県の近代洋画」	13. 5. 9 ～ 5. 23	郡 家 町 中 央 公 民 館	686
	13. 5. 27 ～ 6. 11	羽合町歴史民俗資料館	215
	13. 6. 14 ～ 6. 28	祐 生 出 会 い の 館	216
鳥取県立博物館所蔵美術品展 「鳥取県の近代日本画」	13. 5. 12 ～ 5. 27	日 南 町 美 術 館	319
	13. 6. 3 ～ 6. 17	た く み の 館	442
	13. 6. 24 ～ 7. 9	み さ さ 美 術 館	551
鳥 取 県 立 博 物 館 新 収 蔵 美 術 品 展	13. 6. 10 ～ 7. 15	米 子 市 美 術 館	726
	13. 8. 18 ～ 9. 2	倉 吉 博 物 館	1,388
鳥取県立博物館 収蔵美術品展 「鳥 取 県 の 洋 画」 「岡村吉右衛門の型染め版画」	13. 11. 17 ～ 12. 2	倉 吉 博 物 館	625
鳥取県立博物館 収蔵美術品展 「近世の日本画・工芸にみる四季」	13. 10. 27 ～ 11. 11	日 南 町 美 術 館	2,206
合 計			11,566

(2) 天体観望会・見学会

事 業 名	期 日	場 所	参加人員
春 の 星 を 見 る 会	13. 4. 22	博 物 館 前 庭	25 人
野 鳥 の 声 を 聞 く 会	13. 4. 28	鳥 取 市	18
夏 の 星 を 見 る 会 II	13. 8. 11	博 物 館 前 庭	40
親 子 で 森 の 大 冒 険	13. 8. 18	鳥 取 市	16
秋 の 星 を 見 る 会	13. 9. 22	〃	35
キノコを調べる会	13. 10. 8	関 金 町	36
合 計			170

(3) 講演会

演 題	講 師	期 日	参加人員
特別講演会 「発見された弥生人骨～上寺地遺跡から」	鳥取大学 教授 井 上 貴 央	13. 4. 29	500 ^人
特別講演会 「鳥取県の四隅突出墓について」	島根大学 教授 渡 辺 貞 幸	13. 6. 9	105
特別講演会 「自然はふしぎ、おもしろい」	高山短期大学飛騨自然博物館 学芸員 小野木 三 郎	13. 8. 19	50
特別講演会 「60年代・芸術の破壊と創造」	画家・作家 赤瀬川 原 平	13. 10. 14	231
特別講演会 「60年代・日本の前衛美術」	京都国立近代美術館 主任研究官 尾 崎 信一郎	13. 10. 21	63
特別講演会 「砂丘の画家 國領経郎の芸術」	洋画家 小 灘 一 紀	13. 11. 17	150
合 計			1,099

(4) 講座

事 業 名	期 日	参加人員
自 然 化石レプリカを作ろう	13. 6. 23	95 ^人
“ 押し葉標本を作る会	13. 7. 29	24
“ 昆虫標本を作る会	13. 7. 29	28
“ 標本を調べる会	13. 8. 26	79
“ ネイチャーゲームであそぼう	13. 7. 28	40
“ 特別展「いろいろなスライムを作ろうⅠ・Ⅱ」	13. 8. 4・11	各 50
“ 特別展ギャラリートーク	13. 8. 5・12	[35]
“ イブニング・ギャラリートーク「夜の森」	13. 8. 10	[22]
美 術 「漂流物で私流オブジェをつくりたい」	13. 10. 6～7	46
“ 「60年代のメロディー」(音楽会)	13. 10. 8	281
“ 博物館映写会 1	13. 9. 15	24
“ 博物館映写会 2	13. 11. 3	18
“ ギャラリートーク「現代美術への招待ー日本の前衛・60年代ー」	13. 10. 6・13・20・27	[103]
“ ギャラリートーク「ピカソ銅版画展」	13. 11. 17・24, 12. 1・8	(72)
“ ギャラリートーク「郷土の仏画」	13. 8. 25、9. 27	(17)
“ ギャラリートーク「鳥取県の古美術」	13. 4. 21, 6. 2, 7. 14, 8. 25, 11. 3, 12. 8, 14. 1, 19, 3. 2	(53)
人 文 ギャラリートーク「絵はがきで綴る鳥取」	13. 4. 28	(38)
“ 人文講座「鳥取県の絵はがき」	13. 5. 26	31
“ 人文講座「夏休み鳥取探検隊」	13. 7. 22	12
“ 人文講座「小学生のための体験考古学入門」	13. 8. 25	15
“ 人文講座「青谷上寺地遺跡の背景」	13. 11. 23	50
“ 郷土史講座「調査員が語る青谷上寺地遺跡」	13. 12. 2	58
“ 人文講座「鳥取県の民話を聞く会」	13. 12. 15	39
“ 人文講座「因幡氏と伊福部氏」	14. 1. 12	74
“ 人文講座「平井権八の虚像と実像」	13. 3. 9	72
合 計		1,086

うち () の合計180人は常設展入館者に計上
うち () の合計160人は特別展入館者に計上

(5) 資料の貸出

品 名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸 出 し 先	貸付の目的
動 物 剥 製	点 8	剥製	13. 7. 3 ～13. 9. 7	北条町 歴史民俗資料館	「砂丘の自然」展 に展示するため
ヤ マ ネ 写 真	1	ポジフィルム	13. 5. 10 ～13. 5. 31	日本専門図書株式会 社	環境用書籍に掲載 するため
水生昆虫アクリル封入 標 本 (セ ッ ト)	1	アクリル封 入標本	13. 5. 21 ～14. 3. 1	鳥取県立鳥取西工業 高校	課題研究授業に使用 するため
古 生 物 複 製 標 本 他	10	化石複製他	13. 6. 8 ～13. 6. 18	気高町立宝木小学校	移動博物館
ツ キ ノ ワ グ マ	1	剥製	13. 6. 27 ～13. 9. 3	氷ノ山自然ふれあい 館	特別展で展示する ため
化石レプリカ型一式、 三葉虫・アンモナイト化石	20	シリコンゴ ム、化石	13. 7. 13 ～13. 7. 24	あおや郷土館	夏休み講座に使用 するため
鳥 類 剥 製	7	剥製	13. 7. 30 ～13. 8. 28	鳥取県立夢みなとタ ワー	夏休み企画展に展 示するため
化石レプリカ型一式	1	シリコンゴ ム	13. 7. 31 ～13. 8. 6	米子市立福米西小学 校	米子市少年少女科学 教室で使用するため
化石レプリカ型一式、 三葉虫・アンモナイト化石	20	シリコンゴ ム、化石	13. 8. 22 ～13. 8. 25	鳥取県立障害者福祉センター しらはま交流センター	交流事業に使用す るため
古 生 物 標 本	67	化石、化石 複製	13. 9. 12 ～13. 9. 26	羽合町歴史民俗資料 館	特別展に展示する ため
化石レプリカ型一式、 ラバールボウル	21	シリコンゴ ム	13. 11. 2 ～13. 11. 14	中ノ郷中学校	理科授業で使用する ため
動 物 剥 製 他	86	剥製類他	13. 11. 21 ～13. 12. 11	鳥取県立障害者福祉センター しらはま交流センター	移動博物館
古 生 物 複 製 標 本 他	13	化石複製他	14. 2. 26 ～14. 3. 5	関金町立山守小学校	移動博物館
前 田 寛 治 《福本和夫像》	1	キャンバス・ 油彩	13. 4. 11 ～13. 6. 12	倉敷市立美術館	「岡本唐貴とその 時代」展
土 方 稲 嶺 《鶴に帰雁図》、ほか	5	紙本墨画・ 屏風、ほか	13. 5. 30 ～13. 7. 25	㈲因幡街道ふるさと 振興財団	「石谷家の美術」 展
笹 鹿 彪 《風景(北京)》、ほか	3	布・油彩、 ほか	13. 6. 7 ～13. 6. 30	鳥取県総務部管財課	知事公邸展示
香 田 勝 太 《小庭》、ほか	7	板・油彩、 ほか	13. 7. 1 ～13. 9. 30	鳥取県総務部管財課	知事公邸展示
加 茂 季 鷹 《和歌》	2	紙本墨書・ 軸装	13. 7. 26 ～13. 11. 28	㈲因幡街道ふるさと 振興財団	「茶道具展」
佐 伯 祐 三 《オーヴェールの教会》	1	キャンバス・ 油彩	13. 8. 27 ～13. 12. 21	豊科近代美術館 掛川市二の丸美術館、ほか	「中山巍と1920年 代のパリ」展
安 岡 信 義 《火鉢(冬の読書)》、ほか	7	キャンバス・ 油彩、ほか	13. 10. 1 ～14. 9. 30	鳥取県総務部管財課	知事公邸展示
土 方 稲 嶺 《鴛鴦暁眠図》	1	紙本著色・ 軸装	13. 10. 10 ～13. 11. 30	鳥取市歴史博物館	「月を慕う」展
橋 本 興 家 《古城清秋 姫路城》、ほか	27	和紙・多色 木版	13. 10. 30 ～13. 11. 21	北条町歴史民俗資料 館	「橋本興家版画展－ 多色木版画の魅力－」
狩 野 有 信 《山水富士図》、ほか	12	絹本著色・ 軸装、ほか	13. 11. 28 ～14. 4. 17	㈲因幡街道ふるさと 振興財団	「石谷家の美術品」 展
前 田 寛 治 《棟梁の家族》	1	キャンバス・ 油彩	13. 12. 17 ～13. 3. 22	東京国立近代美術館	「未完の世紀－20世紀美 術がのこすもの－」展
中 井 金 三 《バラ》、ほか	7	キャンバス・ 油彩、ほか	14. 1. 5 ～14. 3. 31	鳥取県総務部管財課	知事公邸展示
山 内 信 《私日記01-4「二つの顔」》	1	合板・合成 樹脂塗料	14. 1. 10 ～14. 1. 23	名和町公民館	県展入賞・入選者 の作品展示

5 調査研究活動

(1) 調査研究

分野	事項
地学	鳥取層群の化石に関する調査研究
動物	鳥取県の直翅類に関する調査研究
植物	鳥取県に産する希少植物の分布に関する調査研究
考古	鳥取県の古代寺院に関する調査研究
民俗	民間信仰（お札）に関する調査研究 県内の木造船に関する調査研究
歴史	鳥取藩政資料に関する調査研究 平井権八に関する調査研究 鳥取県内の近現代資料（学童疎開等）に関する調査研究
美術	鳥取県に関係した文化財、美術資料、ゆかりの作家・作品等についての調査研究 平成14年度特別展「伊谷賢蔵 生誕百年記念展」「華やぐパリの芸術家たち展」等についての調査研究

(2) 研究報告等の刊行

刊行物の名称	発行時期	回数	発行部数	規格	ページ数
郷土と博物館 第47巻	14年3月	1回	1,000部	A 5	44ページ
博物館年報 No. 29	13年10月	1	400	A 4	55
研究報告 No. 39	14年3月	1	500	B 5	42